

①学習の目標

- 1 時間目 類義語・対義語・多義語について理解する。
2 時間目 「人間は他の星に住むことができるのか」を読み、語句の意味調べをする。
3 時間目 既習の漢字の読み書きを確実に身に付ける。

②準備するもの

- ・教科書 ・国語のノート（前回使用した大学ノート） ・国語辞典（意味調べ）
- ・ワークシート「類義語・対義語・多義語」P 12・13
「人間は他の星に住むことができるのか」P 14・15のみ。
（三省堂 教科書・教材 <https://tb.sanseido-publ.co.jp/homelearning/>）
両面印刷すると各1枚ずつ。表面余白に学年・クラス・番号・名前を書き、ノートに貼る。
- ・類義語辞典・対義語辞典（あれば）…インターネットでも調べられます。
- ・ワーク「国語の学習2」

③学習の方法・手順**1 時間目**

- 1 教科書P 31「類義語・対義語・多義語」を読み、重要な部分に線を引く。
- 2 ワークシートP 12・13の問題に取り組む。その際、類義語・対義語辞典を活用してみよう。
- 3 ワーク「国語の学習2」のP 12もやってみる。 ↑ 学習のポイントを参照

2 時間目

- 1 教科書を読む前に、題名「人間は他の星に住むことができるのか」に対する答えを自分なりに予測し、ノートに書く。理由も考えて書くこと。
- 2 教科書P 34～38「人間は他の星に住むことができるのか」を音読し、読めない漢字は調べる。
- 3 教科書に「形式段落番号」を付ける。
- 4 ワークシートP 14・15を活用し、難語句の意味を調べる。
（ワークシート以外に調べた語句は国語ノートに書く。）

3 時間目

- 1 ワーク「国語の学習2」P 13を、テストのつもりでやってみる。
（わからなくても答えを見たり、調べたりしない。）
- 2 答え合わせをして、間違ったところを納得するまで復習する。

④学習のポイント・取り組み方の例

〔1時間目について〕

- ◆ 類義語辞典・対義語辞典を使ってみよう。

参考：インターネット版

類義語辞典「類語辞典 goo 辞書」「weblio 類語辞典」

対義語辞典「対義語辞典 辞典オンライン」「WORDDROW 対義語辞典」

〔できれば調べてみよう！〕

「すげー」（凄い）や「ヤバい」など、私達が良く使う言葉。便利だけど、微妙なニュアンスが伝わらない。
類義語にはどのようなものがあるのだろうか？ 様々な表現の仕方を探してみよう。

〔2時間目について〕

◆ 「形式段落番号」とは？

段落には、①形式段落、②意味段落 の2種類があります。

①形式段落は、「行を改め、一字下げて書き始めるまとまり」を指します。

→行頭が一字下がっているところに、①、②・・・と記入していきましょう。

ちなみに、形式段落⑩まであります。

②意味段落は、「内容を場面ごとに分けた意味のまとまり」を指します。

→つまり、意味段落はいくつかの形式段落がまとまっていることが多いです。

◆ 「語句の意味調べ」の意義とは？

語彙力を高めるためです。

多くのことばを知っていれば、読んだり聞いたりしたときに、理解がスムーズにできます。

また、たくさんのことばを知っていると、会話の中でも自分の言いたいことを分かりやすく伝えることができるし、文章を書く際も、読み手が心に残る印象的な文を書くことができます。

語彙力を鍛えるためには、様々な言葉に出会い、その都度、意味を確認し、実際に使ってみることが大切です。短文作成をしたり、会話の中で使用したりすると、語彙力が身に付きます。

「面倒くさい」と言わずに、楽しんで意味調べをすることに慣れてください。

〔3時間目〕

◆ 漢字が苦手な人へ

① **読みを確認**・・・カタカナ表記は音読み、ひらがな表記は訓読み

「^{けいせい}形声文字」と呼ばれる漢字には、音を表す部分があるので、共通の部分をもつ漢字と同じ読み方をしたりします。 **例) 令、鈴、玲、怜など・・・音読みは「レイ」**

② **部首を確認**・・・部首は、その漢字の主な意味を表す部分です。漢和辞典で検索するときにも知っておくと便利です。その部首がもつ意味がわかれば、その漢字の意味や使い分けもできるようになります。

例) 祝、神、礼、祈、福・・・神事に関わる意味をもつ（しめすへん）

被、袖、袴、襟、裾・・・衣服に関する意味をもつ（ころもへん）

③ **自分に合った勉強の仕方を見つけよう。**

・ ひたすら書いても、全然覚えられない人は、漢字のパーツごとに覚える。

例) のぎへんに高いと書いて、「稿」とか。

・ その時は覚えられても、すぐに忘れてしまう人は、少し時間をあけて、何回も繰り返しテストしてみるといい。満点取れるまで、繰り返すくらいの粘り強さで。

・ 一人だと覚えられない人は、家族に問題を出してもらって、答えを書く、など。

⑤自己評価の仕方

・プリントやワークは答え合わせをして、間違ったところを納得するまで復習する。

（それでもわからなかったら、後日質問できるようにノートにメモしておく。）

→プリント類は、記名し、ノートに貼る。

◎学習の目標を振り返る。